

産業医の活用について (1/23~2/2 アンケート・ヒアリング)

分会長又は養護教諭集計結果 小学校 (5校)

(1) 産業医の名前と顔について教職員の方はご存じですか？

はい 5校 いいえ

(2) (1)で「はい」 例えば、何割くらい知っていますか。

約 (7割①、10割③、無①)

「学年会等を回った。」

問2. (1) 産業医による校内研修は行われましたか。

はい 3校 いいえ 2校

(2) (1)で「はい」 研修会について、教職員の評価はどうでしたか。

大変良かった 良かった 2校 特にない わからない 1校

問3. (管理職は) 在校等時間が過労死ライン (月 80 時間以上) を超えた教職員の方に産業医の面談を進めていますか。 進めている 3校 進めていない 把握していない 2校

問4. (1) 産業医による職場巡視はありましたか。

あった 4校 (授業時間中) なかった 1校 把握していない

(2) (1)で「はい」と答えた方に質問です。産業医による職場巡視はこれまで何回ありましたか。

1回 2回 1校 3回以上 2校 無 1校

(1) 産業医からストレスチェックの結果をもとにして教職員個人や職場環境づくりに関わって指導助言はありましたか。 あった 4校 なかった 1校 (まだ面談を受けていないのでわからない)

(2) (1)で「はい」 どのような指導助言があり、それを受けてどのような職場改善を行いましたか。

- ・個人面談、委員会への現状報告 (とっても助かっている。)
- ・個人面談希望の方はストレスチェック表をもって面談を行った。
- ・校長が結果を伝え、指導助言があった。

問5. (1) 産業医は衛生委員会に出席されましたか。

出席した 3校 出席していない 把握していない 2校 (設置されているかわからない)

(2) (1)で「はい」と答えた方に質問です。産業医からどのような指導助言があり、それを受けてどのような職場改善を行いましたか。

- ・個人面談、委員会への現状報告 (とっても助かっている。)
- ・1度だけ出席し、全職員への顔合わせと自己紹介、仕事の内容についてお話が合っただけ。次からは個人面談を実施する予定である。
- ・現状が良いと言われた。

問7. 産業医は病気休職中の教員に面談を行うなど支援を行っていますか。

行った 行わなかった 1校 (本人に断られた) 把握していない 2校

これから復職面談をする予定 2校

産業医の活用について (1/23~2/2 アンケート・ヒアリング)

分会長又は養護教諭集計結果 中学校 (9校)

(1) 産業医の名前と顔について教職員の方はご存じですか？

はい 8校 いいえ 1校

(2) (1)で「はい」例えば、何割くらい知っていますか。

約 (1~2割③、3~4割②、8割①、10割②、無①)

「名前は紹介した。」「職員長会で全職員へ紹介した。②」

問2. (1) 産業医による校内研修は行われましたか。

はい 1校 いいえ 8校

「年度途中からなので時間が取れなかった。」

(2) (1)で「はい」研修会について、教職員の評価はどうでしたか。

大変良かった 良かった 特にない 1校 あまり良くなかった

問3. (管理職は) 在校等時間が過労死ライン (月 80 時間以上) を超えた教職員の方に産業医の面談を進めていますか。 進めている 8校 進めていない 把握していない 1校

問4. (1) 産業医による職場巡視はありましたか。

あった 6校 なかった 1校 把握していない 2校

(2) (1)で「はい」と答えた方に質問です。産業医による職場巡視はこれまで何回ありましたか。

1回 3校 2回 2校 3回以上 1校 (5回、必要に応じて別で月1回が年2回予定)

問5. (1) 産業医からストレスチェックの結果をもとにして教職員個人や職場環境づくりに関わって指導助言はありましたか。 あった 4校 なかった 5校 (これから行う予定1校)

(2) (1)で「はい」どのような指導助言があり、それを受けてどのような職場改善を行いましたか。

- ・気軽に話ができるようなぞんだった。
- ・管理職が対応している。
- ・健康診断の結果が思わしくない数値が出た職員に対して職員の健康診断後のアドバイスがあった。メンタル面談の後、管理職へのフィードバックがあった。
- ・(ストレスチェックの) 結果が届いているかわからない。管理職からない。(2)

問6. (1) 産業医は衛生委員会に出席されましたか。

出席した 3校 出席していない 3校 把握していない 3校

(2) (1)で「はい」と答えた方に質問です。産業医からどのような指導助言があり、それを受けてどのような職場改善を行いましたか。

- ・突然産業医が配置されたので。
- ・残業の多い人、病休者の支援。
- ・面談を月1回行っていて、(9:30~10:30) 時間が取れない。(面談でいっぱい)
- ・勤務時間など。
- ・出席できない場合は議事録に目を通して助言をしている。

問7. 産業医は病気休職中の教員に面談を行うなど支援を行っていますか。

行った 2校 行わなかった 1校 把握していない 3校

現在対象者がいない1校 これから復職面談をする予定1校 別の方(委員会)が出向いている1校

養護教諭より

・業務負担が増えている。

・確かに那覇市教育委員会は、教職員数 50 名以上の学校に産業医を配置しました。衛生委員会を持つように指示がありました。そのことで、養護教諭の業務（負担）が増えました。コロナ禍の業務が落ち着いて、通常の業務量にもどったところに新しい業務です。教職員の健康管理は、本人を中心に管理職が行うものだと認識しておりました。衛生委員会の準備、産業医への対応、職員の健康状態、勤務状況の把握・・・これらの事を児童生徒の来室対応や間もなくやってくる健康診断業務の間にやらないといけません。養護教諭の業務負担軽減やメンタルヘルスは誰が考えてくれるのでしょうか。我々は、よく評価面談の場面で「教職員の健康（メンタルヘルス）にも気を配ってください。」と言われます。このことは普通の事ですか？あたりまえの事ですか？疑問を持つてはいけない事ですか？那覇市が急にメンタルヘルスに力を入れてからずと疑問に感じています。急激に業務量が増えたからです。

琉球新報 2024年7月24日

学校衛生委設置進まず

県内中学41%、小学34%

労働者の健康増進や労働災害防止などを目的とし、労働安全衛生法に基づき50人以上の労働者がいる事業場に設置が義務付けられている「衛生委員会」について、県内の

小中学校での設置率が全国平均を大きく下回っている。厚生労働省の調査では、2023年度は中学校が全国平均90・8%に対し41・0%で全国最下位、小学校は同88・0%に対し34・0%で全国46位だった。

23日の県議会文教厚生委員会で、県教育委員会働き方改革推進課の上江洲寿課長が仲村未央氏（おきなわ新風）の質問に答えた。県内では同法により選任義務がある産業医の選任率も全国平均を大きく

下回っており、小学校が全国平均85・3%に対し45・3%、中学校が同90・6%に対し48・7%にとどまっている。一方、衛生管理者については小学校が同94・1%に対し94・3%、中学校が同96・2%に対し97・4%など全国平均を上回った。

県教委によると教職員のうち、精神疾患による休職者は過去10年以上、全国平均の2倍以上の状態が続いているといい、22年度は全国平均0・71%に対し1・45%になっている。

質疑では労働安全体制の整備の遅れが休職が多い要因ではないかとの指摘もあった。

（外間愛也）